

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	高額介護サービス費貸付事業			
予算科目	3 款 1 項 12 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課:	長寿介護課	電話番号(内線):	562
記入者情報	所属長:	福岡 保裕	担当責任者:	矢野 真人
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	介護サービス計画を作成し介護保険法に規定する高額介護サービス費等の支給を受ける者			
根拠法令等	伊予市介護保険高額介護サービス費等貸付規則			
事業の目的	介護貸付等対象サービスに要した費用が著しく高額であるため、支払いが困難な者に対し、当該介護給付等対象サービスに要した費用の一部を貸し付け、必要とするサービスを受けられるようにする。			
事業の内容	介護保険法に基づき、当該居宅サービス又は施設サービスに係る世帯の自己負担金の支払に必要な資金の一部を貸し付ける。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	480	0	0
	人件費	799	813	0	813
	合計	0	1,293	0	813
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	0	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	0	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	480	0	0
	一般財源	799	813	0	813

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
申請件数	件	0	2	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	480	480	480	480	0	1,920

成果指標				
成果指標	申請件数			
指標設定の考え方	当該介護給付等対象サービスに要した費用の一部を貸し付け、必要とするサービスを受けられるようにすることが目的であるため、その申請件数が成果と考えるため。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	2	2	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	申請が無かった事は他の政策が充実していて申請が無かったとも考えられるので、心配していない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	低所得者が介護保険制度を低負担で安心して利用するために設けられた制度。今後も制度の継続が必要と考えるが利用者は少ない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題